



日刊報日曜日... 日刊報日曜日... 日刊報日曜日...

常識講座

コンフェスは自由すること... 告白、懺悔書の如きもの、コンフェッション、コンと云へば同盟、聯合、同盟者、同盟國、聯合者、聯合國の意、

前首相林大將の時局講演演會

廿五日平第二小學校で、平市では在郷軍人聯合會と合同主催で来る二十五日磐城高女講堂に濱三郡國防婦人會幹部會の開催を機とし前首相陸軍大將林大將を講師に請ひ右幹部會の講演後同市第三小學校講堂に於て午後六時から一時時局講演會を催すべく林大將に照會中であることは既報したが快諾を得たのである

美談 片倉工女の熱誠 冬休廢止を歎願

感激させられた今井場長

平市の片倉製菓系では毎年舊年末から正月にかけて工女達を歸郷させ糸姫遊もまた一年一度父母の膝下に暮す約二週間の休業を待ち遠いほど樂みとされてゐるのであるが非常時下下工女達の健康から去る十七日夜自發的に各宿舍の支部會を組織し、白石方部九三名、栃木方部一二名、石城方部一〇〇名、湯本方部七〇名、上遠野方部四五名、双葉方部三〇名、計三百七十名が支那軍變の尊き戦死傷者並に遺族に對し満腔の謝意を表し第一戦線にある皇軍將兵の武運長久を祈る、暴戻なる

両河川工費の繰延で異状なし

改修工事中の夏井川明年度豫算は四萬圓、新川は一萬五千圓を時局的關係で繰延べられ

仁井田川改修竣功式

松葉橋々畔に記念碑

石城郡北の仁井田川改修は昭和八年夏の起工で約四年六ヶ月を費し急上完成に近づいてゐるが地元大浦村では来る二月十一日竣功式を舉行すべく村長木村清治氏が關係地に協賛會の組織を斡旋中であるが記念建設の計画もありて其の撰文は高橋改修所長に左記の如く編まれ、松葉橋は君島知事の揮毫を請ふ等、碑は大浦村の字高橋地内松葉橋々畔に建設されることとなつてゐる尙ほ當日の式は同村小學校に於てあらうと

各宗寺院の寒行で 軍事後援會に寄附

今日六十三圓廿七錢を

平市内各宗寺院より成る佛教徒同志會では各住職の總出動で同市軍事後援會に對する寄附金造成の爲め市内を託鉢され、てゐたが此の募り収入七十五圓七十七錢に達し封筒その他を費費十二圓五十錢を差引き、残る六十三圓二十七錢を今日九日會長遠藤心光師の名で市

湯本町葬

廿三日午後一時、石城郡湯本町に於ける戦死者の町葬は既報の如く来る二十三日午後一時から同町新校舎

角網船八崎丸不明

機關の故障で十六日來漂流 氣遣はれる乗込漁夫八名

石城郡泉村の角網船八崎丸(九トシ)所有角網漁船八崎丸(九トシ)二十馬力)が漁夫八名の乗込みで去る十六日午前九時同地を出航郡内豊間村遊漁沖合十海里の海區で漁撈中突如機關部に故障を生じ航行不能に陥り漂流してゐたところ海上に板片を發見した漁夫が海中に飛び込み陸を指して救ひを求めんとす途上一双の小舟に援けられて小名濱漁業組合に急を告げたので直ちに漁船二隻が救助に出動したが漁船二隻に至らず十七日午後一旦歸港更に救助船四隻を同夜八時出發捜査に盡してゐる今十九日に至るも尚ほ發見されず且つ何れの地からも消息がないので生死を氣遣はれてゐる

濱木塚の 代議員選舉

濱三郡木炭同業組合の代議員改選は来る二月一日各支部に於て一齊に第一支部の石城は平市團休事務所に於て定員十二名、第二支部の双葉は富岡町元郡役所に於て定員十名、第三支部の相馬は原の町公會堂に於て定員十名を選舉されるが現在の模様では總數三十二名に半數の新顔が出るであらうと見られてゐる

郡下橋梁調査

縣土木課の奥山技師は縣道小野新町平線に於ける腐朽橋梁の調査を経て明日二十日來平二日間の滞在で石城郡下の同橋梁を調査の筈だが平市磐城橋の架け換え位置も決定される由である

再調査

既報石城郡豊間村の縣立回春園西部の小丘に建つ財團法人健康保險組合聯合會本縣支部の國立病院は起工の準備中であるが昨十八日縣土木課の細井技師及近藤警務技師出張七日間滞在再調査中である

愛谷江筋の サイホン

完成に近づく 夏井川の改修に伴ふ好開川の同附帯工事に於て同河川を横斷する愛谷江筋のサイホンが改修側の全額負擔一萬五千圓で新設中であるが延長百米の中既に其の半分の完成したので舊正月前までに全部の築設に漕ぎつけべく目下工事

小川村葬

廿四日午後一時、石城郡小川村では同村出身箱崎鐵三郎軍曹の名譽の戦死に對し来る二十四日午後一時小學校に於て公葬を営まれるが同軍曹は十月二十五日江蘇省三家村附近の戦に於て戦死

皇軍は連戦連勝

丹野哲夫

謹啓、入隊以來多忙に紛れ御無沙汰いたしました、悪からず御諒察下さい、講習會に於ては御懇切なる御指導を賜はり私深く感謝する所であり、先生を初め皆々様には益々御健勝にて戦後御奮闘のことと存じます、帝國軍人として講習會を離れ〇〇へ入隊して

濟南に入城致しました

平市南町出身 船山孝次 拜啓、新春を迎へ皆々様の御健康を遠き北支より御祈

災害地検査と中 小河川の調査

縣土木課の加藤技師は平土木監督所管下に於ける災害(大野村字戸田内仁井田川)検査及び中河川夏井、仁井田、新川の名河川調査の爲め昨十八日來郡來る二十日まで實踏する

今晩も明日も北西の風、晴

りますれば他事乍ら御休心下さい、〇〇月〇〇日濟南市に入城いたしました、黄河は一キロ五〇〇もある河に濁流の水片を流し水片のかみ合ふ音が高く聞え物凄き位です、尙濟南市は人口五萬ぐらゐるに大きな都市であります、建物は西洋風にて津浦線、膠濟線の連絡線です、温度は夜間に於て十二度ぐらゐる、晝間に於て二度位です、先は近況まで皆々様によろしく

産業方面

馬の骨軟症と飼養管理(三)

放牧地に少なく育成使役が多い
豫防法、粟の偏食を避けること、即ち乾草の乏しい地方では草の代用として大豆小豆の殻や稗、甘藷、玉蜀黍等の稗、大根葉、竹笹等生の葉を成るべく與へることが必要、しかし一時に多量を與へず少量づゝ混ぜて與へること、またカルシウム分の補給には炭酸カルシウム分の補給は多く炭酸カルシウム分の粉末だから與へてもよく、微細な大理石の搗粉や焼貝殻の粉末等を飼付毎に一握り位飼料に混用してもよいとして使役せぬ時飼料を多く與へ過ぎることよくなく、
管理法、冬期は努めて馬を使役すること、使役せぬ時は運動させるか、空地を利用して好天氣の日、外繫ぎを勵行した厩舎はなるべく乾燥させ換氣に注意し特に日光が充分入るやう明窓をつける等に注意し、馬の手入れを怠らぬことが必要である、
次へで雪の新潟の同種病馬を上ぐれば實に四割二分を算してゐる、同種の馬の總頭数は二八〇〇で此のうち四・二%は骨軟症にかゝる實情である、骨軟症の罹病率は北陸地方で新潟が一番高率である、これは雪が他縣に較べて非常に多く、従つて運動不足となりまた山がない關係上飼料として草の代りに粟を多く供してゐることに起因してゐる、

なほ同縣では目下骨軟症豫防に大奮である(完り)

正確な体温計
なる寒暖計(種各)
計量器指定販賣
平市五丁目角
山野邊藥局

藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科
診療時間 午前八時より 午後九時まで
醫學博士 江尻伊三郎
看護婦至急入用
院醫尻江

「看護見習募集」
明雲堂眼科醫院(電話六六九)
平田町(三丁目裏川岸通)
入院應需(自炊の便あり)

お醤油は

ヤマフル

醤油味贈
たひら正宗
鯨節食料品



山崎合名會社

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

電話 本営業部 二一〇番 本店 二七〇番

舊年末、年始の御進物には



贈つて便利!
受けて重寶
ツルヤの商品券を



ツルヤ

平四・電一四〇

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町 電話五二三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

レストラン
サロシ
町田平 二五三電

今般副院長として高橋俊幸氏を招聘し「内臓外科一般外科皮膚泌尿器科」の診療に従事せしむ
平病院 (平市元共濟病院跡) 電話六四一番
院長 醫學博士 鈴木定藏
内兒科 鈴木定藏
副院長 佐藤幾要司
皮膚泌尿器科 鈴木定藏
物理療法科 鈴木定藏
藥劑科 鈴木定藏
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで 夜間診療に従事す(急患は此の限にあらす)

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
晝夜 北川外科
診療
平市新川町二七(電話六四)
醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保
入院デキマス

金網鉄骨
良品廉價
西村屋藥局

恐るべき悪疫防止に
安全、確實な「内服ワクチン」を
おすゝめ致します
三共製チフス内服ワクチン
大人(一人分)二〇セン(小兒二人分)
十五歳以上の方から大人の量です
三共株式會社製品總代理店
西村屋藥局
平市本町二丁目 電話三番